

life
くらし

健康110番

国際医療福祉大学病院です

草間幹夫 歯科口腔外科センター長



唾液の排出障害で嚢胞に

の後方で咽頭の前方の口蓋腺（小唾液腺）

液を分泌しています。小唾液腺の一つが何かの刺激で傷つけられ、唾液の排出障害を起すと、口腔粘膜下に水泡様で、嚢胞といわれる袋状のものができます。これが粘液嚢胞といわれるもので、液を分泌しています。小唾液腺の一つが何かの刺激で傷つけられ、唾液の排出障害を起すと、口腔粘膜下に水泡様で、嚢胞といわれる袋状のものができます。これが粘液嚢胞といわれるもので、

れると嚢胞はいったん消失したかに見えますが、多くの場合また同じところに再燃します。治療は、局所麻酔下に周囲の小唾液腺と一緒に摘出する必要があります。薬剤で治すことはできません。時折、口底に大きな



Q 60歳女性です。約1年前から、左口蓋後方に違和感が出ました。鏡で口の中を見ると、小豆粒くらいの水ぶくれがありました。2〜3日で消失

⑩

しますが、また同じ部位に同様なものが出てきます。今回、右側口蓋にも同様のものがあります。周囲に赤みはなく、触ってもそれほど痛くありません。顔や頸の腫れはありません。

A 軟口蓋（口蓋

）に由来する粘液嚢胞と思われます。軟口蓋の粘膜下にはたくさん的小唾液腺があります。口腔内は、耳下腺、顎下腺、舌下腺という大唾液腺の他に、口蓋頬粘膜、口底、下唇粘膜などに小唾液腺がた

つたり、腫れ上がった小唾液腺炎に付随する炎症に効果があるだ



粘液嚢胞（上）とガマ腫



粘液嚢胞ができることがあります。場合によっては片側の舌が挙上することがあります。これは、舌下腺に由来するガマ腫といわれるもので、大きな粘液嚢胞と考えていいでしょう。

発症を予防するには、口腔内の清潔に努め、刺激物の摂取を慎むことです。ある程度の飲酒は大丈夫ですが、喫煙は禁忌です。小唾液腺が豊富で、この病変が発生しやすい場合もあります。

健康の不安や疑問について、読者の皆さんの質問を募集します。症状や経過をなるべく詳しく、その人の年齢、性別も書いてください。投稿者の住所、名前（ペンネーム可）、年齢、性別を記入し、〒320-8686 下野新聞社くらし文化部「健康110番」係へ。住所不要。FAX (028・625・1185)、メール (platina@shimotsuke.co.jp) でも受け付けます。